

緊急時サポート



職場における暴力の 兆候を診断する

米国労働安全衛生庁（OSHA）は、職場での暴力を「職場で発生する身体的暴力、嫌がらせ、脅迫、その他の脅威となる破壊的な行為またはその脅威」と定義しています。



現代社会はストレスの多い時代です。

様々な状況や出来事（長年にわたるものもあれば、新しいものもある）が、そのストレスを引き起こしたり、悪化させたりします。

人間関係の悩み、膨らむ借金、労働時間の短縮、体調不良、喪失感によるトラウマ、コロナウイルスによる日常生活の乱れが生む負担などが例として挙げられます。

そのようなストレスが原因で、ある人は限界に達してしまうことがあります。残念ながら、その限界点が職場で発生することもあります。

組織によって定義は異なりますが、米国労働安全衛生庁（OSHA）は、職場での暴力を以下のように定義しています。

職場で発生する身体的暴力、嫌がらせ、脅迫、その他の脅威となる破壊的な行為またはその脅威

労働安全衛生局（OSHA）は、職場での暴力を、職場で発生する身体的暴力、嫌がらせ、脅迫、またはその他の脅迫的な破壊的行為または脅迫と定義しています。



職場における暴力の範囲は、大まかに言って次のような行為を含む傾向があります。

- ・ 殺人
- ・ 武器の使用または使用するという脅迫
- ・ 暴行
- ・ 身体的（家具を投げる、壁を殴る）または声（叫ぶ、怒鳴る、冒瀆する、下品な言葉を使う）のいずれかにより暴力を示すこと
- ・ 対面、電話、郵便、Eメール、ソーシャルメディアなど、あらゆる種類の脅迫
- ・ 器物破損
- ・ 脅迫と脅し
- ・ ハラスメント



これらは、職場における暴力の現れ方であり、次に挙げた4つのシナリオのうちのどれかで発生する傾向にあります。

- 顧客が従業員に暴力を振るう
- 従業員が同僚に暴力を振るう
- 友人やパートナーが従業員に暴力を振るう（職場で対立する）
- 見知らぬ人が従業員に暴力を振るう

職場での暴力行為のすべてが目に見える形で発生するわけではありません。では、誰かが被害者になっていないか、どのように確認すればよいのでしょうか。



「事故」や「転倒」とごまかされることの多い明らかな身体的徴候（打撲、切り傷、腫れなど）以外にも、以下のような注目すべき徴候があります。

- 仕事の質の低下
- 個人的な電話連絡の後、明らかに動揺している
- 感情の起伏が激しく、気分が変わりやすい
- 孤立と引きこもり
- うつ
- 集中力の欠如
- 早退、遅刻、欠勤

職場で暴力を振るわれる可能性のある人がいないか、どのように確認すればよいのでしょうか。



暴力的な爆発が差し迫っているかもしれないという警告サインは、次のようなものによって予見されることがあります。

- 遠回しな脅迫、または公然の脅迫
- すぐに批判する、批判を受けることに過敏になる
- 気分のむら
- 集中力の欠如
- 常習的欠勤
- 仕事の質と生産性の低下
- 様々な武器を所有していることを自慢する
- うつ
- 個人の衛生や身だしなみに関する基準の低下



場合によっては、警察や消防、さらには労働基準監督署による現場の安全分析も実際に可能です。これによって暴力事件を防ぐことはできないかもしれませんが、事件が起きた場合の対応策や対処法を確認することはできます。

どこで働いていようと、どのような役割（管理職、監督者など）であろうと、一般に、兆候に気づき、職場における暴力のリスクを評価し、それを回避または低減するための手段を講じることは可能です。



あなたが自分自身またはほかの誰かに危害を加えることを考えている、または、このような考えを持っている人を知っている場合には、すぐに助けを求めてください。

誰かが差し迫った危険に直面している場合には、**緊急通報番号（119）**に連絡するか、最寄りの救急医療機関に行ってください。

訓練を受けた危機管理カウンセラーか、よりよいホットラインなどに連絡しましょう。よりよいホットラインの電話番号は**0120-279-338**です。

電話の他に、FAX、チャットやSNSによる相談にも対応しています。24時間毎日、無料で秘密厳守のサポートを提供します。*



必要なときに必要なサポートを

緊急時サポートに関するその他のリソースや情報については、optumeap.com/criticalsupportcenterをご覧ください。



あなたが自分自身またはほかの誰かに危害を加えることを考えている、または、このような考えを持っている人を知っている場合には、すぐに助けを求めてください。誰かが差し迫った危険に直面している場合には、緊急通報番号（119）に連絡するか、最寄りの救急医療機関に行ってください。訓練を受けた危機管理カウンセラーか、よりよいホットラインなどに連絡しましょう。よりよいホットラインの電話番号は0120-279-338です。電話の他に、FAX、チャットやSNSによる相談にも対応しています。24時間毎日、無料で秘密厳守のサポートを提供します。*

*よりよいホットラインはどんな人のどんな悩みにも寄り添って、一緒に解決する方法を探します。外国語による相談も受け付けています。

本プログラムは、**応急治療や緊急治療が必要な際にはご利用いただけません。緊急の場合は、緊急通報番号（119）に連絡するか、最寄りの救急医療機関に行ってください。**本プログラムは、医師やその他の医療従事者の治療に代わるものではありません。特定の治療や医薬品が必要な場合は、医師に相談してください。利益相反にあたる可能性があるため、Optumもしくはその関連機関、または利用者が本サービスを直接または間接的に受けている機関（例えば雇用主または医療保険プランなど）を相手取った法的手段に関わる可能性のある問題については、法律相談を提供することができません。本プログラムとそれを構成するコンポーネントは、一部の州、またグループのサイズによってご利用いただけない場合もあり、内容は変更される場合があります。プログラムには除外事項および制限事項が適用される場合があります。

Optum®はOptum, Inc. の米国およびその他の法域における登録商標です。その他すべてのブランド名または商品名は、各所有者の商標または登録商標であり、各所有者に属しています。Optumは雇用主として均等な雇用機会を提供しています。

© 2023 Optum, Inc. All rights reserved. WF8463081 223388-092022 OHC